

プレスリリース

2015年5月9日

国境なき医師団 (MSF)

イエメン：連合軍によるサアダ州への大規模攻撃——MSF が声明を発表

サウジアラビア主導の連合軍は、イエメン・サアダ州に集中的な爆撃を行うことを発表し、一般市民にこの地域を離れるよう警告した。これを受け国境なき医師団 (MSF) は5月8日、声明を発表。この声明は、イエメンにおける MSF 医療コーディネーターのリュノス・オルティスによるもの。MSF はサアダ州のアル・ガムハリ病院で、同国保健省のチームと共に負傷者の治療を行っている。

民間人を狙った攻撃は、警告があってもなくても、国際人道法に対する深刻な違反行為です。州全体を狙うことは、さらに深刻な侵害です。

数時間のうちにサアダ州の人びとが全員避難することは不可能です。多くの人は車を持っていないか、連合軍による封鎖で燃料を持ち合わせていません。また、電話回線がほとんどつながらない状態のため、情報を入手できない人も多くいます。

連合軍がサアダ州への大規模な爆撃の脅威を続ければ、多くの人が爆弾によって亡くなるでしょう。私たちは、民間人への攻撃、特に病院や排水システムへの攻撃は避けるよう、連合軍に要求します。

さらに、避難した人びとが同州南部の山地に向けて大量に移動する恐れもありますが、そうした場所には人道援助は届きにくいです。連合軍は輸送・交通インフラの封鎖に加え、国内の空港を空爆により破壊しており、現状よりさらに悲惨な人道危機を引き起こすかもしれません。

以上

本件に関するお問い合わせ先：

特定非営利活動法人 国境なき医師団日本 広報担当：舘 俊平／趙 潤華

TEL：03-5286-6141／090-5759-1983 FAX：03-5286-6124

E-mail: press@tokyo.msf.org